令和４年度第２回狛江市市民活動支援センター運営委員会　議事録

１　日時　令和４年８月25日（木）　午後６時30分～８時

２　場所　市民活動支援センターこまえくぼ1234

３　出席者

委員　上田英司氏（委員長）梶川朋氏（副委員長）伊藤聡子氏

佐藤新哉氏　宍戸裕子氏　長尾眞木氏　星恵子氏　三角佐智子氏

事務局　大山寛人（センター長）　日比野浩　武藤慎哉

４　委任状　委員　伊藤輝芳（副委員長）氏　青木香奈氏　繁平光伯氏　松村正俊氏

５　傍聴者　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため傍聴は中止

６　議題

（１）委員長挨拶

（２）委員自己紹介

（３）市民活動支援センターからの報告

狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書（資料N01）に基づき報告。

（４）意見交換

（委員長）

これまでの報告の中で質問はありませんか。

（委員）

こまえくぼの９月号に専門部会のホームページ部会が紹介されています。今後も定期的に載せていくのでしょうか。今後の予定はありますか。

（事務局）

広報会と専門部会でそれぞれ年間１回は皆さんに紹介したいと考えています。

（委員）

社会的な課題に対して専門値はもたないけれど、何か自分ができることをしてみたいと思った時にその想いをどう育んで、伴走していけば良いのかと考えさせられる事例がありました。

（委員）

市民活動のある種の専門性については同じように悩むことが多いです。中間支援組織のコーディネーターの立場でも悩みが大きく変わります。

お互い市民だからできることが一杯ある反面、中間支援機関のスタッフはちょっと違う立場であったり、気にしなければならないことがあるなかで、悩みながら、活動者の方がどういっ

た活動のビジョンを描いているのか見極めたり、一緒にやったりしています。

（５）専門部会報告、検討チーム報告

各専門部会の活動概要（期間：４月～７月）（資料２）、（資料３）に基づき報告

（６）検討チーム参加委員からの報告

①きっかけ講座

（委員）

後継者不足が問題になっているのはどこの団体も同じだと思います。

活動者を受け入れる団体側の意識改革を進めていきたいと思います。

②社会資源

（委員）

次回の話し合いにはマップに載っている団体も参加してもらいたいと考えています。

団体に感想を聞かせていただき、今後どのようにすればよいのか考えたいです。

③調査研究

（委員）

昨年度のアンケート調査結果からいろいろなことが内容に隠れていることが分かりました。

それぞれの項目の回答をクロス集計しそこにどんな要因が隠されているのか。いくつかのポイントで見ていきたいと思います。

財政的なもの、場所拠点の問題や行政との協働事業などいく様々な切り口でしっかり分析していこうと考えています。

（７）令和５年度事業計画（案）について

令和５年度狛江市市民活動支援センター事業計画書（案）に基づき報告

（８）質疑応答

（委員）

令和５年の重点取り組みの前文の内容について、昨年度は急激な環境変化という文言が入っていましたが、今年ではその環境に柔軟に対応していくのかという内容に変わっています。

活動に関しては、昨年度は活動をいかに継続するのかというところから、今年では安定した

活動ができるようにと変わっています。

これらの変更点についての意識や現状をどのように考えているのか聞きたい。

また、団体運営については会則など整備するものですが、会則や活動内容など団体の登録内容について、これを参考にすればよいというものが公開されているのか聞きたい。

（事務局）

今年度、コロナの感染状況が上がっている状況からこれまでであれば活動を停止するところ行政からも制限はありません。変化の中にいかに自分たちを慣らしていくという視点が必要だと考えています。

団体運営について会則などは団体の基盤となります。近頃、活動をやめるという団体も出てきていますが、会則もなく総会なども行わず代表一人の思いで活動を辞めてしまった会もあります。こまえくぼでは会則などのひな型を準備しています。

（委員）

新たな課題である日本語支援について、指定管理業務報告書にあるマッチング支援と同様なのか。日本語支援の経過を教えてほしい。

（事務局）

外国から転入してきた児童が日本語が分からないため学校の授業についていけないという相談をきっかけに、同様の課題を抱える児童が市内の各学校にいるのではと考えアンケートを行いました。

その結果、数十名いることが判明し、狛江市全体の課題として考えました。

学校をよく知っているのは児童の保護者です。協力者も各学校で募集しました。

協力者 30 名のうち、14 名が学校での支援を行っています。

今まで支援してきた方は日本語が少しわかる方が多いですが、中には４名ほど日本語が全く分からない、親が日本語を話せない方がいました。

日本語支援は市民活動で行うだけでなく、行政に働きかけることが必要と考えています。

（委員）

グループ運営についてこまえくぼが全面的に関わっていくのでしょうか。

（事務局）

現在、日本語支援を行うグループの中から法人化の話が出ています。今後もグループの伴走をしていく予定です。

（委員長）

5か年計画における基本目標、来年、最終年度、5か年計画と現在の目標についてその進捗を定点観測することが大切だと考えます。これまでを振り返る令和5年度だと考えます。そのようなことが分かる点検項目があると良いです。

（９）市民活動支援センター　Twitterアカウント開設について

事務局より説明

（10）意見交換

（委員）

ツイッターは字数が限られているので、詳しく情報を提供することが出来ません。情報発信にはこまえくぼのHPにリンクを張る形になるのでしょうか。

（事務局）

そのようになる予定です。

７その他情報提供等

（１）東京ボランティア・市民活動センター運営委員・センター長合同会議

開催告知、要項を配布

（２）市民センター改修

（３）運営委員会のハイブリット開催

（４）第２回こまえくぼ1234フェスティバル